



国見っ子

令和2年度 第5号
国見町立国見小学校だより
令和2年 6月 1日
発行者 校長 本多 康弘

新たな学校生活の始まり

いよいよ学校生活が始まります。

子どもたちの登校のあいさつが、日に日に大きくなってきました。休み時間や昼休みに青空の下で元気よく走り回る姿も見られます。本来あるべき学校の姿が戻ってきているように感じます。

さて、本年度から新学習指導要領が全面实施となりました。「学校で学んだことが生きる力となり、未来に向かって自ら課題を見付け、自ら学び、考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。」学習指導要領には、そうした願いが込められています。

学校での学習がいよいよ本格的に進んでいきます。「新しい生活様式」のもとでも学びの本質は変わりありません。むしろ、この社会変化の中でも「自ら学ぼうという姿勢、社会の変化に対応する姿勢、自他共に生きる姿勢」を育てていかなければならないことを考えるよい機会となりました。授業では、先生の話をしっかり聞くことや教科書やノート、筆記用具を忘れずに準備すること、家庭では宿題や自主学習ノートなどに着実に取り組むことなど、学習活動の重要な柱は変わることはありません。大切な学習の土台づくりとして継続して指導していきたいと考えています。



教育相談を実施しています

長い休校が明けて、学校生活や家庭生活のなかで、少なからずストレスを抱えた児童もいるかもしれません。今週からは、児童と担任が面談する教育相談期間となっています。児童一人一人の声を確かめながら、学校や家庭での生活のこと、学習のこと等、改めて寄り添った指導をしていきます。保護者の方でも、不安や心配な点があれば学校までご連絡をお願い致します。

緊急事態宣言解除により徐々に社会施設等の制限も緩和されてきました。しかしながら当面の間は、休日においても不要不急の外出を控える、仲の良い友人同士の家間での行き来を控える、家族ぐるみの交流による接触を控えるなど、ご家庭においても「新しい生活様式」の実践をお願い致します。

フェイスシールドをいただきました

町よりフェイスシールドをいただきました。本来は、ウィルスなどの飛沫飛散を防護、側頭面への跳ね返りや飛び散りを減少させるものです。これまで「主体的で対話的な学習」がある授業は難しいところでしたが、このフェイスシールドを用いて必要とされる学習場面にのみ活用しながら、学習活動の充実に努めていきたいと思っております。



お知らせ

- 7月5日(日)に予定していた日曜参観は、授業時数の確保のため実施しません。つきましては、繰替休業日としていた7月6日(月)は通常の登校となります。
- 体育の授業において、6月26日(金)にプール開きを行い、水泳授業を行います。これにつきまして、後日、承諾書を配付いたします。